



# アジアの将来担う人材養成

## 両国の架け橋となる若者を



山田滝雄駐ベトナム日本国特命全權大使

ベトナム・ハノイには、日本の名前が入った大学、「日越大学」があります。2014年に設立され、16年に、まず修士課程が、そして、20年には学士課程がスタートしました。現在、約300人の学生が、2つの学士課程プログラム、8つの修士課程プログラムで学んでいます。

日越大学は、日越の友好・協力の象徴として誕生しました。そして、ベトナムと日本の強みを活かし、持続可能な発展に貢献する先端技術及び学際科学の分野においてアジアで最も威信のある研究志向大学となる目標を掲げています。

しかし、日越大学は、まだ発展の途上です。多くの日本の大学からご支援をいただいております。茨城県とのつながりでは、

筑波大学及び茨城大学から、開設当初よりご協力をいただいております。

また、現在、ベトナムに対する投資熱は引き続き高く、多くの日本企業が進出していますが、このような日本企業からも様々な形でご協力の申し出をいただいております。茨城県に本社を置く関彰商事株式会社様からも奨学金やキャリアセミナーといった形でご協力をいただいております。

今後、日越大学を「強み」として最大限活かしていきたいと考えております。在ベトナム日本国大使館は、引き続き積極的に日越大学を応援していきます。引き続き、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。そして、さらに多くの日本の皆さまに日越大学を知っていただくことを考えております。

日越大学から、将来の日越の架け橋となる若者が一人でも多く出てきてくれることを願っています。

## 産学官連携とアジアのプラットフォーム

### 日越大学支援国内本部



武部勲 代表

高度成長下でのベトナムは、いま世界の注目を集めています。「いまより明日が、より良く変わっていく」と誰もが感じて生きている社会に身を置き体感することは、次代の国際社会を支える若者にとって有意義な時間となるに違いありません。

日越大学は、日越共同戦略プロジェクトとして両国友好議員連盟が提案し、両国首脳間の合意に基づき、2016年9月に両国の友好と結束の象徴として開学した。開学から6年近くが経過した日越大学は、建学の目標「アジアを愛する、世界に挑む」のもと、8つの修士課程プログラムと2つの学士課程プログラムを開校し、サステイナビリティーサイエンスの領域においてアジアでトップクラスの研究志向大学への道を歩んでいる。

ベトナムの国造りを担う高度人材・リーダー育成を目指し、リベラルアーツ（教養教育）を通じた学際的な課題解決能力と先端

技術の修得も重視している。今後さらなる進化に向けてプログラムの増設や新キャンパスを整備する計画が進んでいる。

今年4月に独立行政法人国際協力機構（JICA）より公益財団法人東亜総研が受託した日越大学の国内支援事業の一環として、日越大学支援国内本部（代表：武部勲日越友好議員連盟特別顧問）の活動が開始された。

各種構想の実現に向けて日越大学はもとより、日越大学推進関係者庁会議（内閣官房）、及び日越大学連携連絡会（国内28大学・NPO1法人加盟）と連携し、産学官連携の促進と広報活動にあたっている。これら取り組みを通して日越大学の発展のみならず、アジアの平和と繁栄を念頭にいた日本のアジア外交の拠点となる日越大学の基盤づくり力を注いでいる。

今後、日越両国の広範な戦略的パートナーシップにより、日越大学はアジアのプラットフォームとしての可能性を限りなく広げていくだろう。

日越大学の問い合わせ先  
(英語、ベトナム語対応)

メール▶ [1rtd3-vju@jica.go.jp](mailto:1rtd3-vju@jica.go.jp) (日越大学支援国内本部)  
info@vju.ac.vn (総合案内)  
admission@vju.ac.vn (入試関連)  
ホームページ▶ <http://vju.ac.vn/en>  
フェイスブック▶ <https://www.facebook.com/VJUJp>

HP

Facebook

企画制作：茨城新聞社営業局

# 修士課程、日本の大学が支援



## 3 学長紙上座談会



(日越大学修士課程プログラム幹事校)

日越大学 古田元夫 学長



## 茨城との関係発展を

### 幹事校の役割

「幹事校を務める筑波大と茨城大の役割分担をぜひお聞かせください。」

古田学長は、「教育プログラム（専攻）に相当し、その実施に必要な教員の派遣などに責任を持つ、日本側の幹事校が置かれています。筑波大学は修士課程の公共政策、茨城大学は修士課程の気候変動と開発のプログラム（専攻）を引き受けていただいています。」

古田学長は、「日本側で日越大学設置に本格的な検討が始まるのは、00年代の初頭から、設計の議論に参加いただきました。その後、学長に就任され、筑波大学には公共政策の幹事校をお引き受けいただくことになりました。今年3月に発足した日越大連携校連絡会という組織の会長もさせていただきました。」

古田学長は、「日本側で日越大学設置に本格的な検討が始まるのは、00年代の初頭から、設計の議論に参加いただきました。その後、学長に就任され、筑波大学には公共政策の幹事校をお引き受けいただくことになりました。今年3月に発足した日越大連携校連絡会という組織の会長もさせていただきました。」

茨城大学 太田寛行 学長



## 持続的な連携を進める

### ベトナムとの関わり

「私が大学に入ったのは、ベトナム戦争が激しく展開されて、ベトナムに強い関心を持っていました。その時代史や社会を研究したい」と思うようになった。1974年からつたたびベトナムを訪れるようになり、金や研究機関と、強い結びつきを持つようになった。」

太田学長は、「ベトナムとの連携の可能性を探るべく、本学が表団が最初ホーチミン市を訪れたのは06年のことでした。現地では、ベトナムの若者や学生との交流が始まり、09年に開設された本学3番目の海外事務所であるホーチミンオフィスは、地元の活動の幅を広げ、教育、研究、人的交流を通じて各層との連携協力を進めてきました。」

太田学長は、「ベトナムとの連携の可能性を探るべく、本学が表団が最初ホーチミン市を訪れたのは06年のことでした。現地では、ベトナムの若者や学生との交流が始まり、09年に開設された本学3番目の海外事務所であるホーチミンオフィスは、地元の活動の幅を広げ、教育、研究、人的交流を通じて各層との連携協力を進めてきました。」

「永田学長と太田学長は、日越大学の来賓や留学生の交流について、かなり期待を寄せています。茨城大学は、日越大学は、修士課程や修士課程の公共政策、茨城大学は、修士課程の気候変動と開発のプログラム（専攻）を引き受けていただいています。」

「MOCを修了した第一期生が本理工学研究所の修士後期課程に入学しました。本学研究を継続していただくのは、私たちにとてもうれしいことです。日越大学の教育を受ける人々の体制や環境の整備をさらに進めたいと考えています。」

「茨城大学としてMOCの選考に向けて改めて気候変動対応の持続可能な社会ということ意識した教育を強化したいと考えており、将来的にはカリキュラムの共有なども図って持続的連携を進めたいと考えています。」

筑波大学 永田恭介 学長



## 学生の交流双方向に

「日越大学は、アジア有数の研究大学になることを目指しつつ、ベトナムと日本の将来の関係をお聞かせください。」

永田学長は、「日越大学の修士課程が二つ存在しているのは、偶然ではあります。今後、日越大と両世界の関係が発展することを期待しております。」

「茨城は、ベトナムとの交流が盛んな県で、先日通った山田虎之介前会長が地を去り、山口や理事会長の下で発展を続けています。日本企業と友好協会の関係会社もあります。さらに、民間商事など、日越大とその設立初期から関心を寄せ、支援いただいた企業も数多くあります。」

「教育担当者がサポートしてくれる、くじけずに日本に来られた。来日お待ち間、茨城大学はオンラインの授業やアドバンスにより支援。現在は在校生のチューターが付けて日常生活や学習の面でサポートを受け、大学の援助体制に感謝する。指導を担う北理工理学部教授（58）は、能が停、学問に真面目に向き合っている。日越大から茨城大に入学した1期生として新たな道を切り開き、日越の架け橋になってほしいと期待を寄せる。

「ベトナム大学の講師になり、学んだことを若い人に伝えたい。気候変動の問題について解決策を見たいし、社会に貢献したい。母国の未来を背負う表情は、はっきりと見えた。」

日本とベトナム両国の友好と結束の象徴として、2016年9月に開学した日越大学（ベトナム・ハノイ）。修士課程8プログラムでは日本の7大学がそれぞれ幹事校を務め、カリキュラム作成や教員派遣を担う。古田元夫学長と、県内で幹事校を務める筑波大学の永田恭介学長、茨城大学の太田寛行学長に、日越大学での教育の実践や未来への期待について聞いた。併せて、同大修了後に茨城大学で学ぶベトナム人留学生や、日越大学支援国内本部の取り組みを紹介するとともに、山田滝雄駐ベトナム日本国特命全權大使の寄稿も掲載する。



茨城大大学院で学ぶドゥ・ズイ・タウンさん(34)

「いまは雨期で海から風が吹いてくるので、天気は比較的良かった。6月中旬、茨城大学水戸キャンパス 水戸市文京 内の大学院研究室で、マウスを片手にパソコンの画面を眺める男性。母国ベトナムから送信される大汚染状況などのデータを精査している。」

「互いに支え、災害から立ち直ろうとする人々の姿が心に響いた。気候変動の研究に関わる発症の予防や予防に、茨城大学は、気候変動の対策が必要でなく、環境のための対策が必要だ。」

「現地は、微小粒子状物質（PM2.5）などによる汚染が深刻化。開発途上の経済発展への貢献のため設立されたアジア開発銀行の職員から、一念発起して研究の道へ進んだ。」

「日越大入学時、インターンシップで本県を訪れた。2019年10月の台風19号の水害があった直後で、ボランティアも経験。その際、同じく水害が多いベトナムと比較し、強く印象に残った。日本人のコミュニケーションは、強いと感じた。助け合い、普段の生活に戻ると対応が早い。」

「茨城大との関係が発展することを期待しております。」

# 健全なる次世代のために for a Healthy Next Generation

日越大学と関彰商事は、2017年に『相互の歴史や教育文化を尊重しながら将来の更なる発展を創出すること』を目的として、日越大学学生を対象とした「奨学金の支給」「日本でのインターンシップ受け入れ」、セキショグループ社員を対象とする「ベトナムでの研修プログラムへの参加」に関する協力覚書を結び、互いが持つ知見を活かして様々な交流をしております。これらから「健全なる次世代」を目指し、日本とベトナム両国の発展に繋がる取組みを続けて参ります。



現地法人のご紹介 **SEKISHO VIETNAM COMPANY LIMITED**

ベトナムに関わるビジネスを総合的にサポートします

2016年にベトナムへ事務所を開設し、『人材紹介』『合同企業説明会・面接会の運営』『システム開発』『海外進出支援等のコンサルティング業務』を行なっております。日本人・ベトナム人スタッフが常駐しており、きめ細かいサービスを提供いたします。

WEB <http://bit.ly/3sJYQwP>

イベント案内

2019年開催時の動画を公開中▶

主 催：株式会社セキショキャリアプラス（セキショグループ）  
協力：ハノイ工科大学 運営：Work Station

## ベトナム人材合同企業説明会&面接会

出展企業 募集 中

SEKISHO JOB FAIR 2022

ベトナム人材採用にご興味のある企業様へ

理工系・IT人材採用のチャンス!

優秀なベトナム人材を採用したい日本企業とハノイ工科大学を中心とした現地大学生および既卒者を対象に、9回目の企業説明会・面接会「SEKISHO JOB FAIR」を開催します。3年ぶりとなる対面形式でのイベントで、理系技術者や将来の幹部候補、日本とベトナムの「架け橋」となる多数の人材と出会う機会を提供します。出展満足度90%を超える当JOB FAIRを、優秀なベトナム人材の採用機会としてぜひご利用ください。

お申込み・詳細案内・資料請求はこちら

WEB <http://bit.ly/3sJYQwP>

イベント案内

2019年開催時の動画を公開中▶

主 催：株式会社セキショキャリアプラス（セキショグループ）  
協力：ハノイ工科大学 運営：Work Station

開催日程	企業説明会&面接会	オンライン面接会(任意)
2022年11/5(土)&6(日)	21社	21社
2022年11/11(金)&12(土)	785名 (2日間延べ837名)	785名 (2日間延べ1089名)
2022年11/18(金)&19(土)	39社	39社
2022年11/25(金)&26(土)	908名 (2日間延べ1089名)	908名 (2日間延べ1089名)
2022年11/25(金)&26(土)	6社	6社
2022年11/25(金)&26(土)	444名 (来場&WEB参加者)	444名 (来場&WEB参加者)
2022年11/25(金)&26(土)	11社	11社
2022年11/25(金)&26(土)	377名 (WEB参加者)	377名 (WEB参加者)

※ 2020年は「JAPAN CAREER DAY」として小規模開催

## 産学連携プランで、ベトナム人材をはじめ多くの外国人材の可能性を引き出します



人材派遣業/人材紹介業/特定技能登録支援機関

ワークホールディングスグループ

**ワークスタッフ株式会社**

茨城県守谷市ひがし野1-29-14ワークMKビル1F  
TEL:0120-0120-39 TEL:0297-47-0001

## 県内企業に留学生を輩出

みらい日本語学校 MIRAI Japanese Language School

茨城県水戸市元吉田町1029-7  
ワーク水戸ビル2・4F

2018年開校以来、留学生と技能実習生の日本語教育を行っています

すでに多くの卒業生が県内企業に就職し、介護・飲食・食品製造業・外食業分野等で活躍しています。

2022年6月新規開校

真岡みらい日本語学校 Moka MIRAI Japanese Language School

栃木県真岡市寺内1191

小学校廃校の活用事業で開校。産官学の連携により地域に定着する人材育成に努めています。

外国人技能実習生監理団体

みらい協同組合

茨城県つくばみらい市紫峰丘1-5-4  
TEL:0297-21-7715